

現役パイロットによる 航空学生制度説明会を実施



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、8月20日（木）本部庁舎及び航空自衛隊新潟分屯基地において、航空学生制度説明会を実施しました。これは、パイロットを目指す学生を対象に、自衛隊航空学生制度について、制度の概要、入隊後のキャリアパス等を説明するものです。

今回は、同制度出身のパイロット、航空自衛隊新潟救難隊所属の杉本 啓晶 3空佐、海上自衛隊館山航空基地所属の吉田 航大 2海尉の支援により実施しました。

当日は、参加者13名に対し本部庁舎での制度説明の後、新潟分屯基地に移動、同基地見学、航空機見学を行いました。参加者は、現役パイロットの生々しい体験談を交えた説明に聞き入り、初めて間近かに見るUH-60J救難ヘリコプター、U-125A救難捜索機の機体説明に目を輝かせていました。



また、駐機した状態での機内搭乗では、普段見ることのできない操縦席や機内構造の様子を通じて、パイロットへのイメージを高めていました。参加者からは「現役のパイロットからお話を聞けて、パイロットがより身近に感じられました」「航空機を間近で見ることができ、感動しました。採用試験合格に向けて頑張ります」などの声が聞かれました。



新潟地本は、航空学生受験希望者の更なる獲得とともに、受験の意志固めに繋がるよう積極的に活動していきます。